

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第10回牧区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○報告事項（公開）

(1)令和4年度 灯の回廊「まき深山のともしび」の実施について

### ○協議事項（公開）

(1)令和4年度地域活動支援事業活動報告会等について

(2)牧振興会及び牧区地域協議会等との意見交換会について

(3)委員からの提案について

### ○自主的審議事項（公開）

(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

## 3 開催日時

令和5年1月31日（火）午後6時00分から午後8時05分まで

## 4 開催場所

牧区総合事務所3階 301会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：西山新平（会長）、飯田秀治（副会長）、池田幸弘、井上光廣、小黒誠、坂井雅子、佐藤祐子、清水薫、高澤富士雄、横尾哲郎

・事務局：牧区総合事務所 山岸所長、小林次長、佐々木グループ長、藤井班長、田中主事（以下、グループ長はG長と表記）

## 8 発言の内容（要旨）

### 【小林次長】

・会議の開会を宣言。

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【西山会長】

- ・挨拶。
- ・所長に挨拶を求める。

【山岸所長】

- ・挨拶。

【西山会長】

- ・会議録の確認：池田委員に依頼。
- ・本日の報告事項である、(1)令和4年度 灯の回廊「まき深山のともしび」の実施について、事務局より説明を求める。

【佐藤班長】

—資料No. 1に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

【清水委員】

- ・ろうそくの配布はいつごろになるのか。

【佐藤班長】

- ・実施日の1週間程度前を予定している。改めて、各地区へ連絡させていただきたい。

【清水委員】

- ・配布日にあわせて地区の会議を実施しなければならない。なるべく早めにご連絡いただければと思う。

【西山会長】

- ・他に質問、意見等がなかったため、報告事項を終了する。続いて、協議事項である、(1)令和4年度地域活動支援事業活動報告会等について、(2)牧振興会及び牧区地域協議会等との意見交換会について、事務局より説明を求める。

【小林次長】

—資料No. 2、資料No. 3に基づき説明—

【西山会長】

- ・今程説明のあった件について、質問や意見等はないか。

**【佐藤委員】**

- ・地域活動支援事業活動報告会及び「(仮称) 地域独自の予算」事業説明会は予定があり出席できないが、後半の意見交換会等には出席させていただきたいと思う。

**【藤井班長】**

- ・本日欠席の委員もいることから、後日事務局にて出欠の取りまとめをさせていただく。

**【西山会長】**

- ・それでは、実施について賛否を伺いたい。実施に賛成の方は挙手をお願いする。

(出席委員、全員挙手)

**【西山会長】**

- ・それでは、事務局案のとおり地域活動支援事業活動報告会及び「(仮称) 地域独自の予算」事業説明会、意見交換会を開催することに決定した。委員においては、ぜひ出席いただきたいと思う。事務局においては準備を進めていただきたい。続いて、協議事項(3)委員からの提案について、井上委員より説明を求める。

**【井上委員】**

—提供資料に基づき説明—

**【西山会長】**

- ・学校適正配置に係る案件であるため、これまでの動きについて事務局より報告を求める。

**【佐々木グループ長】**

- ・第9回牧区地域協議会でも説明したとおり、1月21日に保護者全体で意見交換会を実施した。対象となる小、中学校及び未就学児の保護者49世帯のうち28人の方から参加いただき、アンケート結果を踏まえた心配事や要望などをグループ討議形式で発言いただいた。今回の意見交換会は方向性を出すものではなく、保護者の考えを共有するために開催したものである。意見として、1班は人数の減少を勘案すると統合もやむを得ないとのことであった。2班は統合に賛成、もう少し考えた方がよいなど様々な意見があった。3班は複式学級に対する疑問や今後の教育環境への不安など、具体的な心配事が挙げられた。各意見に対し、その場で教育委員会から統合先の学校や複式学級の考え方、いじめ、移行学級に関することなどの回答があった。また、2

月13日に牧小中学校の学校運営協議会があり、適正配置の進捗状況を説明することを予定している。

**【西山会長】**

- ・今程の井上委員の提案について、各委員から意見を伺いたい。提案の内容は具体化すれば実のあるものだと思われるが、地域協議会だけで協議しても拡大していくことはできない。そのため、学校運営協議会などを含めた大きな輪の中で協議を行うことで、外部にPRすることができれば良い。あるいは、教育委員会や市長、市会議員、マスコミに問題を投げかけることも挙げられる。

**【清水委員】**

- ・前回、井上委員が提案された内容はどこの学校でも選択できるというものだった。今回の本校、分校の考えは1か所のみということなのか。

**【井上委員】**

- ・基本的に本校は複数あり、特色のある学校や保護者が自分の気持ちとして親近感のある学校などが挙げられる。前は保護者の生活圏にある学校へ行くことを提案したが、西山会長より「保護者が朝早く子どもを送迎することは負担になる」意見をいただき、地元を基盤としながら学ぶ方が現実的だと考えた。分校をつくるという面では、前回の提案とは異なる。

**【清水委員】**

- ・小学校のみで、中学校は含まれないのか。

**【井上委員】**

- ・具体的なイメージはまだない。中学校は毎日部活動を行うなど、勉強に加えてスポーツが盛んであることから、人数は多い方が良い。また、牧区は積雪量が多いため、交通が途絶するようなことがあれば冬季分校なども考えられる。他にも、受験シーズンに個別学習で受験勉強に取り組むことも有利だと考える。

**【西山会長】**

- ・井上委員の説明によると、子どもが分校と本校を行き来する際に教員が送迎することになっているが、万が一事故が起きた場合のことを考えると実現は難しい。

**【井上委員】**

- ・人数にもよるが、事前に許可を得ることで教員は子どもを車に乗せることができる。

例えば、少人数で見学に行く場合などは教員の自家用車に子どもを乗せることもある。許可を取っていれば、万が一事故を起こした際も保証されるため、絶対に子どもを乗せられないということではない。

【西山会長】

- ・教員にそのような負担をかけてよいものかどうか。

【山岸所長】

- ・適正配置の話は教育委員会から持ちかけられたものではなく、将来を見据え統合を進めてほしいという保護者の思いから始まっている。そのため、現在の小学校の人数より必ず減少する分校を望む保護者がいるのかが懸念される。教育委員会は保護者の意見を尊重したいと考えており、保護者も次の段階へと話を進めている中で井上委員の提案をどのように扱うか。

【井上委員】

- ・必ず取り組んでほしいというわけではなく、話のタネとして考えていただきたい。先日のアンケート結果で「このままでよい」と回答された2割の方にも案として理解いただける部分があると思われる。例えば、テレワークをしながら自然の中で子どもを育てたい方がいれば、分校が一つのセールスポイントになる。親の目が届くところで学ばせることは、子育て世代の保護者にとって大事なことである。牧区出身の方が区内に留まり、かつ外部から移住する方がほぼ同数、あるいは多ければ、分校の人数としてある程度期待が持てる。

【山岸所長】

- ・教育委員会が持つ基本の考えに対し、一石を投じたいということか。

【井上委員】

- ・一石を投じたいというわけではない。

【山岸所長】

- ・教育委員会の考えとして、統合は一つの学校へまとまって行くものとしている。以前、三郷小学校の統合にあたり、各々の自宅から近い学校へ通う意見も挙がったが、教育委員会としては一つの学校に全員で行ってもらう旨を説明している。先日の保護者全体での意見交換会でも同様の説明を行っている。

【井上委員】

- ・それが既定路線だとすれば、何も言えない。

**【山岸所長】**

- ・既定路線から外れているか否かは別として、そこには保護者の後押しがなければ提案は通らない。次回のアンケートでは、「どちらでもよい」と回答された方の意思を伺うことを考えている。ある程度話が進んでいる中、井上委員の提案の扱い方を委員の皆さんに伺いたい。

**【清水委員】**

- ・井上委員の提案には夢がある。今まで保護者の方は適正配置について検討されてきたことから、そこへ一つの案として提案されてはどうか。

**【飯田副会長】**

- ・井上委員や山岸所長がおっしゃったとおり、保護者の意見が最も重要である。保護者の声がなければ、話を進めることはできない。今後懸念されるのは保育園児や小学校低学年の保護者である。今まで適正配置について検討をされてきた保護者に対し、教職に就いていた井上委員だからこそ提案することもできると思われる。また、学校運営協議会と保護者の心配点は異なることから、保護者同士の懇談会などの機会を設け、そこへ行政が関わることができれば良いと考える。

**【西山会長】**

- ・井上委員の提案は村単位であればできるが、合併した上越市で実現するにはハードルが高い。

**【小黒委員】**

- ・教育委員会のベースが決まっている以上、細かいことを実現しようとしても不可能である。

**【山岸所長】**

- ・井上委員から移住者の話もあったが、以前配布された資料「牧小中学校の児童生徒数の推移」によれば、令和10年度に小学校で11人、令和16年度に中学校で6人となる。

**【井上委員】**

- ・移住を希望する人の考えとして「ここで働きたい」、「ここに住みたい」のほか、子どもの居場所があるかどうかの一つだと考える。

【山岸所長】

- ・例えば、学校はあるものの在校生が一人の学校に通わせたいと思うか。井上委員の提案に対して保護者の強い意向があれば実現が可能なのか、教育委員会へ確認が必要である。そのため、教育委員会から回答をいただき、次回の地域協議会で説明させていただきたい。

【井上委員】

- ・提案に関して協議会で話題としてもらい、とても嬉しく感じる。このような話を皆さんとしたいと考えていた。教育委員会と対立したり、行政と一線を交えたいわけではないが、市町村合併をしたことで全国にも稀に見る広さの上越市がどんどんコンパクトシティのようになっていくことは、将来を見据えるとあまり良いことではない。

【山岸所長】

- ・古城小学校と直江津小学校が統合し、直江津小学校としての学校区が広がったことで、古城地区に出向く学習活動を意識的に取り組まれているとのことである。それらを踏まえると、相互学習として良くなる部分もある。

【井上委員】

- ・教員の負担となり、時間もかかる。

【佐藤委員】

- ・以前のグループ討議で、児童数が減少している中、せめて一緒の校舎にする小中一貫校の考えが挙げられた。もちろん、合同でできないこともあれば、統合の一つ前の段階かもしれないが、井上委員の提案内容に取り組むことができると考える。また、新聞に教育委員会の適正配置の委員を募集する記事が掲載されていた。そこへ井上委員から参加いただき、協議していただければ良い。教育委員会や学校運営を理解されている教員経験者の方などが適切だと思われる。最後に、地域協議会として区内のスポーツ団体の保護者と意見交換を実施したが、まだ保護者全体とは行っていないことから今後実施できたら良いと考える。

【西山会長】

- ・他にご意見等はないか。

【小黒委員】

- ・地域協議会の中で協議しても、全てを決めるのは最終的に保護者である。

【山岸所長】

- ・教育委員会から井上委員の提案を実現することが難しい旨の回答があれば、保護者に分校の話をすることはできない。一方で、佐藤委員の保護者全体と意見交換を実施することは可能であり、地域協議会として何を聞きたいのかを整理する必要がある。

【井上委員】

- ・教育委員会にはぜひ提案を認めていただき、保護者と話題にしていだければと思う。

【西山会長】

- ・井上委員の提案について、事務局と教育委員会で協議を行い、次回地域協議会で示していただくこととして協議事項を終了する。続いて、自主的審議事項(1)あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について、事務局より説明を求める。

【藤井班長】

—資料No. 4に基づき説明—

【西山会長】

- ・前回の意見交換の内容も含め、事務局から資料のとおり整理していただいた。本日は記載されているキーワードや事業提案をもとに、実施主体や具体的な取組内容について協議したい。ご意見のある方から発言を求める。

【清水委員】

- ・「半農半X」が「活力ある農林水産業の確立」となっているが、どちらかと言うと「人と人、人と地域のつながりの形成」だと考える。また、「担い手」や「組織化」は、林業振興のような形でおいた方が良く考える。

【藤井班長】

- ・事務局で整理した内容であることから、そのような意見があれば発言いただきたい。

【井上委員】

- ・「空き家活用・移住者の受入」も重要だと考えるが、現在牧区にいる人がお互いに関わり合うことも考えていきたい。地域の中で営みを持ち、生きていくことが大切だと考える。他にも、牧文化協会の活動や泉集落の棚田のきらめきなど、文化的なことを大事にしていくことが挙げられる。

【小林次長】

- ・前回地域協議会で、政策提案に関する意見交換を行った際、「子ども・子育て」、「産業



(農業・林業)」、高齢者やコミュニティバスの活用といった「その他」の各項目について提案内容が示され、空き家の活用や移住者の受入に関する意見等が挙げられた。今回は、空き家をどのように探して人が住めるようにするのか、誰が実施主体となるのか等を協議いただき、このほかにご意見があれば発言いただきたい。

**【横尾委員】**

- ・円滑に進めるために、全体ではなくグループ討議ではいけないのか。

**【清水委員】**

- ・今日はもう時間がない。

**【坂井委員】**

- ・各項目の実施主体や具体的な取組内容について、私なりに意見をまとめた。まず、「人と人、人と地域のつながりの形成」について、実施主体は行政と牧振興会が挙げられる。行政や牧振興会が宣伝を行い、移住者の獲得に努める。空き家が多いことから、空き家バンクへの登録を宣伝していく。比較的降雪が少ない区内中心部の空き家をリメイクし、移住希望者へ体験会を実施してはどうか。希望に応じて、期間は1週間から3か月程度とし、子育て世代の方が希望される場合はカリキュラムを用意した方がよいと考える。牧区の魅力として、都会では経験できないような蕎麦作りや笹団子作り、手作りのツリー、山菜など山の幸を活用した料理教室が挙げられる。
- ・次に、「活力ある農林水産業の確立」について、実施主体は牧農林業振興公社や農業法人が挙げられる。メープルシロップを牧区産として売り出す。根曲がり杉活用事業は、根曲がり杉を活用して動物のオブジェや遊び場、杉の家を作って子どもたちの遊び場を作る。
- ・最後に、「地域の支え合いで安心できる福祉の推進、快適に暮らせる空間の整備・充実」について、実施主体の中心として牧振興会が挙げられる。JAの存続に向け、牧区として独自の取組を行政と振興会で検討してはいかがか。JAの空きスペースにくつろげる場所をつくって食事処にするのも良い。おにぎりや豚汁、飲み物、ケーキ、おしるこ、コーヒーなどを提供することで、JA店舗に人が集まることも想定される。また、公共交通では、ドア to ドアで買い物ができるバス利用を考える。

**【横尾委員】**

- ・今回の牧振興会の買い物ツアーでは、積極的にJA店舗を組み込んでいただいている。

【山岸所長】

- ・予約型コミュニティバスもJ A店舗が定休日である水曜日は利用者が少ないが、火曜日や木曜日は利用者が多い。

【高澤委員】

- ・それだけJ A店舗を利用している方がいるということか。

【山岸所長】

- ・そのとおりだと思われる。

【横尾委員】

- ・坂井委員の意見では、実施主体として行政を挙げられていた。例えば、空き家情報を町内会長を通じてまとめることなどが考えられる。また、「活力ある農林水産業の確立」についても、牧農林業振興公社や農業法人と意見交換を行いながら、進めていきたい。バスの有効活用もとても重要なことである。協議の際はデマンドバスの運転手などを含めて行っていくことができれば良いと考える。

【西山会長】

- ・以前、地域協議会でも空き家について調査したことがあるが、その際は空き家の件数を聞く程度しかできなかった。実際は空き家の程度についても考慮しなければならない。

【飯田副会長】

- ・坂井委員の意見では、実施主体として行政や牧振興会を挙げられていた。各団体の事情や予算の関係上全てに取り組むことは難しいと思われるが、例えば家を一軒建てて移住お試し体験等を実施できれば良いと考える。事業に取り組むことで、子育て世帯の方等が来る可能性もある。また、現在牧振興会が取り組んでいるものの、情報発信を行う場が少ない。牧区の若者や情報発信に長けている人が中心となって取り組むことができれば良いと考える。

【清水委員】

- ・ただ区内への移住者を募るのではなく、受け入れ体制をどのように整えるかである。移住お試し事業などに取り組んだとしても、受け入れる体制を整えておかなければ難しい。例えば、農業の機械の貸し出しや耕耘作業の体制づくり、イベントの周知などが挙げられる。受け入れ体制をどのように整えるかがポイントであり、そこをもう少し

し検討していければと思う。

**【藤井班長】**

- ・今回いただいた意見を資料に追加し、次回の地域協議会でお示ししたいと思う。

**【西山会長】**

- ・事務局より今回出された意見を整理し、次回の地域協議会で示していただくこととして、自主的審議事項を終了する。続いて、その他連絡事項について、事務局より説明を求める。

**【田中主事】**

- ・ごんぞ飛ばし世界選手権大会の開催について
- ・次回地域協議会の開催は2月21日の火曜日、午後6時からとする。後日、案内文を送付するため、出欠についてご報告いただきたい。

**【西山会長】**

- ・他に意見を求めるが発言がなかったため、飯田副会長に閉会のあいさつをお願いする。

**【飯田副会長】**

- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：[maki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:maki-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。